

コロナ禍における教職員研修の工夫

輪之内町教育委員会 教育課

1 はじめに

学校教育の一層の充実を図る上で、教職員の指導力向上は重要な課題です。しかし、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とともに、「密」を避けるために集合型研修の実施が困難となりました。そこで、コロナ禍においても効果的に教職員研修を進められるように、ICTの機能を生かし実践を進めてきました。その一端を紹介します。

2 実践

(1) オンライン研修と授業支援ソフト(Google Workspace for Education)の効果的な組み合わせ

輪之内町では、全児童・生徒と教職員に Google アカウントを発行しています。令和4年度の輪之内町教育振興会総会の教育長講話では、集合型研修を避け、各学校で受講してもらうことにしました。講話は Zoomで行い、プレゼン資料や共同編集課題、アンケートは Google Classroom「教育長の部屋」で全教職員に配信しました。このようなオンラインと授業支援ソフトとの組み合わせは、休校時におけるオンライン授業の一つのスタイルとなるため、実際に体験してもらうことで、そのよさについて理解してもらえるようにしました。

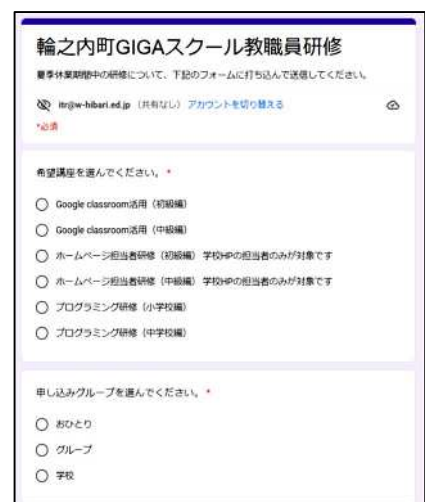


Google Classroom「教育長の部屋」

初任者研修等でも、同様の方法を取り入れています。

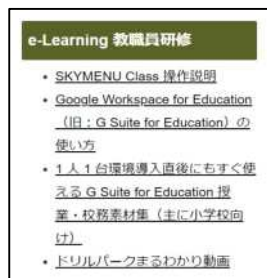
(2) オンデマンド研修で個々のニーズに対応

集合型の一斉研修の形態はとれなくても、少人数の研修なら実施できると考え、学校やグループ、個人でも要望に応じて研修ができるように、オンデマンド研修を位置付けました。学校単位では Zoom や授業支援ソフト (Google Workspace for Education, SKYMENU) の使い方、個人 (特に教頭や教務主任) ではホームページ作成や動画編集のニーズが多くありました。



オンデマンド研修申込フォーム

(3) e-Learning で自学自習



e-Learning メニュー

さらに自力で研修できるように、「情報研修室のページ」に授業支援ソフトやドリルソフト等の使用法解説動画へのリンクを設置しました。これにより、教職員が各自のペースで、必要なときに何度でも視聴し、スキルを身に付けてもらえるようにしました。「分からないことがあればネットで調べればよい」という問題解決力の向上もねらっています。

(4) 役職研修の機会を活用

令和2年度は、町校長会でZoomの体験研修を行いました。オンライン授業に向けてイメージを深めてもらうためです。

令和3年度からは、Google Chatを利用し、共同編集の機能を使って設定し



Google Chat を利用した話し合い

たテーマで話し合いをしています。空き時間に書き込みができるため、時間の制約がなく、効果的に意見交換ができています。

情報教育主任会等でも、同様の方法を取り入れています。

(5) メールマガジンで情報共有

輪之内町では、全教職員にメールアカウントを発行しています。これをメーリングリストに登録し、「輪之内町教育情報メールマガジン」として教育長や主任指導主事から教育に役立つ情報を発信する仕組みを作りました。メンテナンスのお知らせも、これを利用しています。これにより、学校代表にメールを送る従来の方法と比べて、全教職員に短時間で情報が届くようになりました。



輪之内町教育情報メールマガジン

3 オンデマンド研修後の教職員の感想

Google Workspace for Education 研修をオンデマンドで行った後の教職員の感想です。

- ・共同編集の機能により、自分の意見が書き込めるし、他の人の意見もすぐ分かるので自分自身の考えをさらに深めることができました。
- ・便利な機能があることが分かりました。このアプリ1つで生徒とコミュニケーションがとれたり、授業を進めていけたりできそうだと感じました。教師の工夫1つなので、音楽もICTを取り入れて取り組んでいきたいと思えます。
- ・不登校の児童への学習支援に使えるようにしたいと思えました。

4 おわりに

これらの実践から、集合型研修の必要性を再検討・再点検してみると、効率化、合理化の点で改善点が見えてきました。今後もどんな研修形態が効果的か検討を進め、常に改善を図っていききたいと思えます。